（別記）

令和８年度大江町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町の水田面積は、現在約 442ha あり、このうち 251ha で主食用米が作付されている。うち、酒造好適米については 10ha となっており、米以外のその他作物の作付については 42ha となっている。
また、農家戸数に占める主業農家は 31.7%で準主業農家を含め 40.3%となっているが、就業人口に占める 65 歳以上の高齢者が占める割合は 71.9%と高く、担い手の確保、育成及び不作付地、耕作放棄地への対応が今後の大きな課題となっている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本町は中山間部に位置しており、地域の特性を生かした果樹や山菜の栽培が盛んであり、年々生産規模が拡大している。県内外からの需要が高く、比較的安定した生産が見込まれるため、農地集積を行い、面積拡大に向け推進していく。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本町の果樹生産は活発に行われており、新規就農者の取組品目として人気も高い。水田への果樹の作付を推進し、最終的には畑地化を行っていくことを検討していく。
5 年以上畑作物のみが生産されている水田に関しては、意向調査を行い今後も同品目を作付けする場合には、集積及び畑地化の推進を行っていく。
現在、は町内においてブロックローテーションが行われているほ場は無いことから、ほ場ごとの個別の作付け転換を進めていく必要がある。また、交付対象水田の見直しに伴い、産地づくりに向けた体制構築支援を活用し、新しい生産体系（畑地化やブロックローテーション等）の構築を、農業者及び関係機関と検討する。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米
消費者ニーズに対応しながら、「安全・安心」を柱にした減化学肥料・減農薬栽培米（特別栽培米）などの安定的生産に努め、米の差別化を促進するとともに、高品質・高食味の米づくりを推進する。

（２）備蓄米
取組なし

（３）非主食用米

ア　飼料用米
取組なし

イ　米粉用米
取組なし

ウ　新市場開拓用米

取組なし

エ　WCS 用稲

取組なし

オ　加工用米

取組なし

（４）麦、大豆、飼料作物

①麦　　取組なし

②大豆　　水田の畑作利用可能な圃場の整備や団地化による効率的な生産を推進し、栽培管理を徹底する中で収益の確保に努める。

③飼料作物　需要の動向を勘案しつつ、現行の栽培面積を維持する。

（５）そば、なたね

①そば　　排水対策等の生産性向上の取り組みや栽培管理を徹底する中で収益の確保に努める。

②なたね　取組なし

（６）地力増進作物

取組なし

（７）高収益作物

産地交付金を活用した団地化の推進や高品質で付加価値の高い野菜の生産拡大を推進する。また、高収益作物作付への支援を行うことにより所得の向上を行い、不作付地増加の防止を図る。

果樹は本町農業粗生産額の多くを占め、県内有数の果樹産地となっている。今後、平坦な水田への果樹の導入は、機械化や作業効率による規模の拡大や生産性の向上が期待できることから、別紙の（２）を振興品目とし、優良品種への更新や、安全・安心な農産物の生産により消費者の信頼の確保を図っていく。

花きについては、中山間地域の特性を活かしながら、生産施設の条件整備、栽培技術の向上による品質の高品位化と、併せて販路拡大策を推進する。

その他作物を振興品目として拡大する。

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	251		251		251	
備蓄米	0		0		0	
飼料用米	0		0		0	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	0		0		0	
加工用米	0		0		0	
麦	0		0		0	
大豆	0.7		0.7		0.7	
飼料作物	1.9		1.9		1.9	
・子実用とうもろこし	0		0		0	
そば	0		0		0	
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0		0		0	
高収益作物	30.9		31.5		31.5	
・野菜	29.4		30		30	
・花き・花木	1		1		1	
・果樹	0.5		0.5		0.5	
・その他の高収益作物						
その他						
・〇〇						
畑地化	8.3		8.3		8.3	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	わらび トマト なす すいか えだ豆 とうもろこし	地域振興作物助成①	作付面積	（7年度）21.6ha	（8年度）20.0ha
2	かぼちゃ タラの芽	地域振興作物助成②	作付面積	（7年度）3.5ha	（8年度）4.0ha
3	野菜③、花き、果樹（定植後４年以内）（別紙高収益作物一覧の振興作物欄のとおり）	地域振興作物助成③	作付面積	（7年度）5.9ha	（8年度）6.0ha
4	別紙 高収益作物一覧のとおり	団地化助成① （高収益作物）	団地化面積	（7年度）11.9ha	（8年度）12.00ha
5	大豆	団地化助成②	団地化面積 10aあたりの 年間平均労働時間	（7年度）0ha （7年度）0時間/10a	（8年度）1.00ha （8年度）9.4時間/10a
6	そば(基幹作)	【国枠】 そばの作付 （追加配分）	作付面積	（7年度）0ha	（8年度）1.0ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：山形県

協議会名：大江町地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物助成①	1	14,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
2	地域振興作物助成②	1	10,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
3	地域振興作物助成③	1	5,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
4	団地化助成①（高収益作物）	1	8,000	別紙のとおり	60a以上の団地化
5	団地化助成②	1	8,000	大豆	60a以上の団地化
6	【国枠】そばの作付（追加配分）	1	0	そば	作付面積に応じて支援

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別　紙　　高収益作物一覧

	（1）野菜				（2）果樹	（3）花き	（4）その他作物
	野菜①	野菜②	野菜③				
振興作物	わらび	たらの芽	アスパラガス	はくさい	さくらんぼ	啓翁桜	
	トマト	かぼちゃ	かんしょ	にんにく	すもも	りんどう	
	なす		キャベツ	ねぎ	西洋なし	スノーボール	
	すいか		里芋	ばれいしょ	日本なし		
	えだまめ		さやいんげん	ピーマン	ぶどう		
	とうもろこし		さやえんどう	ブロッコリー	ブルーベリー		
			食用ぎく	ほうれんそう	もも		
			せいさい	根曲筍	りんご		
			だいこん				
			たまねぎ				
			つるむらさき				
			にら				
			にんじん				
			こごみ				
			うど				
			うるい				
			きゅうり				
			しどけ				
			ぜんまい				
			ふきのとう				
			モロヘイヤ				
			ギョウジャニンニク				